



シリーズ 受け継ぎ伝える松本のたから 35

子どもたちが伝え続ける 和田町の鳥追い(お日待ち)

今に受け継がれている
小正月の伝統行事…

1月13日(土)の夜
和田町に古くから伝
わる、鳥追い行事が
開催されました。

鳥追いは小正月の
行事で、お日待ちと
もいわれ、子どもた
ちによって行われて
います。農作物に害を
なすと考えられた鳥
を追ひ払うという意
味があり、鳥追いの
歌をうたい、太鼓や
鐘を鳴らしながら、
町内を回ります。

今日はだれの

鳥追いだ

次郎太郎の

鳥追いだ

おれもちっと

追ってやる

ホンガラホイ

ホンガラホイ

以前は広い範囲で
行われていましたが、
現在では、わずかな
所で実施している
だけになってしま
いました。



新しいレイアウトになった図書館

街中の静かな図書室

つどい、まなび、むすぶ場 をコンセプトに中央公民館の2階ロビーのレイアウトが「談話展示コーナー」学習スペース「公民館図書室」の二つに分けられ使用が始まりました。早速このスペースでクリスマス会を催した、中央公民館図書委員会を取材しました。

使いやすいレイアウト

今回、レイアウトを大きく変えたことの利点は、中央公民館エスカレーター横にレイアウトされたことにより、広く入りやすくなったことが挙げられます。学習スペースが

広くなったことで、夕方になると学生の利用も多くなったそうです。

約5000冊の蔵書は絵本を中心に、郷土の本なども置いてあります。このレイアウトは、中軽井沢図書館を視察研修に行ったり、松本市立中央図書館のOBの方に

お話を聞いたたりして、参考にしたそうです。市立図書館とは違い、借りる際にカードはいりません。気軽に好きな本を手に取り、借りられることも魅力の一つです。委員の方が、新書を選んだり、整理をしたりして、お勧めの絵本も見やすくレイアウトされています。

気軽に集まれる憩いの場

12月9日(土)に図書委員会の主催でクリ

スマス会が行われました。今回、広報などで呼びかけたところ、10組ほどの親子が参加しました。

紙皿を使った雪だるまりーの制作では、どんなリースにしようか真剣な表情の子どもたち、それを見守る保護者の笑顔も印象的でした。クリスマス会のパネルシアターにも興味津々で、委員の皆さんの歌や問いかけに元気な声会場に響きました。誰でも気軽に立ち寄れる雰囲気づくりを日頃から心掛けていることが委員の皆さんから伝わってきました。

図書委員会とは

市民のボランティア6人で構成されている、中央公民館図書委員会は、月1回委員会を開いて活動しています。「一つの地域を拠点として広がっていくとよい」という思いを持ちながら、第一地区福祉ひろばでの読み聞かせや、Mウィング内の中央保健センターで行われている3歳児健診での読み聞かせも行っています。夏休み前に行われた子ども対象の「絵本のなかのお菓子をつくらう！」は、すぐに募集人数が集まるほどの人気ぶりでした。今、話題になって



これは何かな? 歌とお話とパネルシアター

公民館の委員会って?

図書委員会を含む公民館委員会は、戦後公民館が整備導入されるにあたり、公民館事業を住民の運営により行うことを目指し、設置されたものです。松本市では、図書視聴覚委員会・体育委員会・公民館運営委員会・館報編集委員会・文化委員会の5部門委員会が基本です。

いるパンダを主人公にした「パンダ銭湯」などを基に作るクッキー作りは、子どもだけでなく、大人にも絵本を身近なものにした企画だったと思います。

これを基本に各地区の公民館では実情に合わせ、例えば館報編集委員会と視聴覚委員会が合併した地区や、体育委員会が無く、子育て委員会が設置されている地区もあります。各委員会は、地域に合わせた活動を行っています。

松本さんぽ

～ゼロ戦 松本の空を飛ぶ～

昭和20年以来72年ぶりに、ゼロ戦が松本の空を飛んだ。 Papua New Guinea で発見され復元された旧日本海軍の零式艦上戦闘機は、現在も飛行できる4機(レプリカを除く)のうちの1機。前日からの駐機を終えて飛び立ち、空港上空を3回低空飛行して旋回し、仙台へ向かった。ゼロ戦が戦争に使われたことの重みを感じつつ、平和への想いを再確認しながら…。



(撮影: 2017.11.22 信州まつもと空港)

「まっぴんぱん」私達のまちの未来を創ろう
第33回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会
 ●テーマ 学びを生かした住民自治力で地域の未来を創ろう
 ●期日 2月18日(日) 午前9時30分～午後4時30分
 ●会場 松本市中央公民館(Mウイング)6階ホールほか
 ●料金 無料

集会の目的

私たちが、普段生活している身近な地域にも、「最近一人暮らしの高齢者が増えた」「町会の行事に若い人たちが出てこない」「子どもたちを見かけなくなった」など、さまざまな問題があります。自分の将来へ向けた生活の不安を感じている方もいることでしょう。

では、いろいろな問題を解決したり、魅力的なまちづくりを進めたりするためには、どうすれば良いのでしょうか。あなたにも出来ることがあるはずですよ。この集会は、今まで32回の歴史を重ねてきた、公民館研究集会をベースにした、市民の皆さん・市民活動団体・行政などがお互いに学び合うことを大切にし、みなさんの活動へつながる「きつかけ」を見つけていきます。

たも「きつかけ」を見つけてみませんか。

集会の内容

◆感謝状贈呈式・開会式
 午前9時30分～10時
 集会の開会式と長年公民館にご尽力いただいた市民のみなさんに感謝状を贈呈します。

◆対談
 午前10時～11時30分
 松本大学白戸洋教授と東京

大学牧野篤教授による住民自治を生かした地域づくりについての対談を行います。

◆市民活動商店街
 午前11時30分～午後1時30分
 公民館活動団体や市民活動団体などが、日頃の学習実践活動を情報発信、または情報交換し、気軽に語り合う場です。

◆分科会
 午後1時30分～4時30分

第1分科会	地域活動の担い手不足
第2分科会	地域での子育て
第3分科会	子どもの権利
第4分科会	高齢社会を支える地域の力
第5分科会	住民自治に向かって文化財と環境
第6分科会	安全安心な町づくり
第7分科会	学生と公民館の協働
第8分科会	

申し込み

2月9日(金)までに、必要事項(氏名/住所/電話番号/参加を希望する分科会番号/保育の有無)を最寄りの地区公民館、または生涯学習課・中央公民館(☎32-11132)へ

☎37-11153へ

写真でつづる まつもとの今昔 ③6

～北松本駅踏切～



(1998.3.12 写真提供:日本報道写真連盟)
 北松本駅の踏切は、篠ノ井線と大糸線により、遮断機が下りていることが多く、開かずの踏切だった。



(2018.1.9 撮影)
 2000年4月22日に、新駅舎が竣工して橋上化し、地下道となった道路はスムーズに通過できるようになった。奥に見える4本の木は、当時のまま残っている。

おこひる

定年退職を機に、物の片付けを始め、たのは昨年の7月頃だっただろうか。山積みの中の段ボール箱を見て、最初から戦意喪失気味だった。退職までの11回の異動・転勤の度に、職場に置いてあったあれこれをドタバタと箱に詰め込んで、ひとまず物置に仕舞った。結局、その後、日の目を見ることもなく、今日に至ったのがほとんどというところだ。写真や備忘録、研修会の冊子など、箱を開けるたびに出てくる懐かしい品々に見入っていると、なかなか仕事がかたからない。その時々最新の読みあさっていた仕事関連の本もたくさん出てきたが、今となっては、もう当たり前と化していることが多く、時の流れを感じる。「流行のものは、すぐに陳腐化してしまう」と池上彰氏の講演で聞いたことを思い出した。そんな箱の中から、じっくりと読み返したい本も何冊か発掘できた。暖かくなったら、また、ぼちぼちとタイムカプセルを開けながら片付けることにしよう。

歴史探訪 探ろう松本 3

水と生糸と教育の 第三地区

探ろう松本第3弾は、経済と文教のマッチした地区、若い力を取り込んだまちづくりを進めている第三地区です。

地区の現況

まつもと市民芸術館の東からあがたの森、蚕糸公園、芝生広場を挟み、多くの湧水に恵まれた地区です。

平成30年1月1日現在、12町会、1,917世帯、人口4,006人です。古くは旧制松本高等学校に始まる緑豊かな文教地区で、あがた保育園・鈴蘭幼稚園・源池小学校・松本秀峰中等教育学校・松本県ヶ丘高校・松商学園高校が



最後まで残っていた片倉製糸紡績の建物

地区の歴史

この地区は、^{あがた}県主が住んでいたといわれる古墳時代よりも古く、弥生時代の集落跡も発掘されており、古来より住みやすい土地であったことが推測されます。

県主にかかわる県の宮社、埋橋、四ツ谷の道祖神、古くからお家の森と呼ばれていた戸田家^{とだけ}廟園（昭和30年に市に寄付された松本城主戸田家の墓所）と、時代をつなぐ史跡が地区内に存在します。

経済の発展

明治23年、当時の片倉製糸紡績が事業拡張のため水が豊富な松本町清水四谷に松本片倉清水製糸場を開設しました。この躍進する片倉の日の出の勢いにあやかり、中町からこの工場に至る道は「日の出町」と名付けられました。



あいさつ運動をするサミットの皆さん

（現在の中部電力松本営業所）が片倉によって設立されるなど、この地区は片倉と共に発展しました。

未来につなぐ

現在、地区内の学校に加え、近隣の清水小学校・清水中学校・松本工業高校・エクセラ^{とだけ}ン高校に通う子どもたちにより「あがたの森未来サミット」が開催されています。世代間交流スポーツ講座などが企画され、将来の松本を支える若者たちと地域との交流が盛んに行われています。

また、昨年イオンモールが開店し、近隣に新しいお店ができるなど、さらなる進展が期待されます。こうした第三地区の今後の発展が、若い力により広く発信されていくことを願ってやみません。

わがまち自慢第19回

誰でも参加できるつどいの場 「カフェすいれん」開店

平成29年11月、城北地区に、新たな集いの場が「カフェ」と銘打って開設されました。以後毎月2回、沢村、白金公民館で交互に開かれています。



「カフェ」では、スタッフとともに温かい飲みものや手作りケーキなどが味わえ、アコーディオン伴奏での懐かしい曲の合唱や、ゲームなどが楽しめます。参加者からは「近くで楽しめ、話し合える場ができてうれしい」「ぜひ毎回来たい」との声も多く聞かれます。

城北地区住みよい町づくり協議会では、福祉ひろばに相談に来られる方や、喫茶で談笑する方の様子から、もっと出かける場、多くの居場所が

必要と考えました。そこから、福祉部会で視察研修、学習会、運営ボランティア講座の開催などを経て2年を駆け開設に至りました。

『すいれん』の花言葉は、優しさ・信頼です。「悩み事の相談の場や、楽しく交流する居場所、身近にある町会公民館の活用と協力が重要」と、三村部会長は語っています。

地産地消のかんたんレシピ

大学イモをまねて 『サツマイモの甘辛焼き』

揚げない大学イモ風甘辛焼き!!

材料：サツマイモ、ハチミツ、しょう油、オリーブオイル、炒りごま

1. サツマイモは乱切りにし、水にさらす
2. 電子レンジで3分くらい加熱する
3. フライパンにオリーブオイルを熱し、サツマイモをカリッとするように焼く
4. ハチミツとしょう油を加えて、全体に絡める
5. 皿に移して、炒りごまを振りかける

